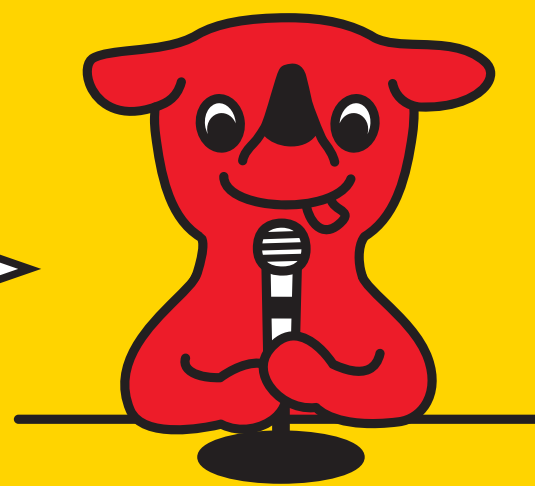


地域のリスクを知り、備える ちば地震防災ガイド

千葉県北西部地域に
お住まいのみなさん
「震度6強」の地震への備えは
できていますか？



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

千葉県内ではどこでも「震度6強」の揺れが起こる可能性があります。

「立ってられないような激しい揺れ」が発生！その時、何が起きる？

古い木造建物（昭和56年以前
に建てられ、耐震補強がされて
いないもの）の多くが倒壊



建物や家具・家電が倒れて
下敷きになり、そのまま火災に
巻き込まれる

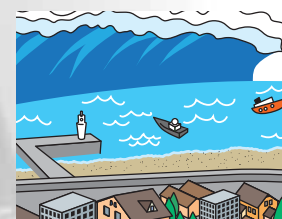


建物が密集している場所では火災による延焼が
止まらない

多くの地域で停電・断水し、食事や風呂、トイレなど
が不自由に

海での地震の場合、沿岸部に
津波が襲ってくる恐れ

（一般にマグニチュード7以上の地震の場合、
津波が発生する恐れがあります）

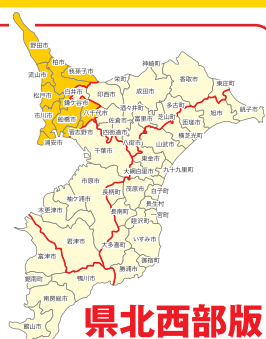


埋立地や河川周辺で液状化が発生する地域も

外出先から家に帰れない！
居場所がない！
あなたも「帰宅困難者」に



停電や通信規制の影響により、電話がつながり
にくくなる



【本ガイドの主な対象エリア】

市川市、船橋市、松戸市、
野田市、習志野市、柏市、
流山市、八千代市、
我孫子市、鎌ヶ谷市、
浦安市

県北西部版



次のページから、
お住まいの地域のリスクと
対策を確認しましょう





お住まいの地域のリスクを知ろう

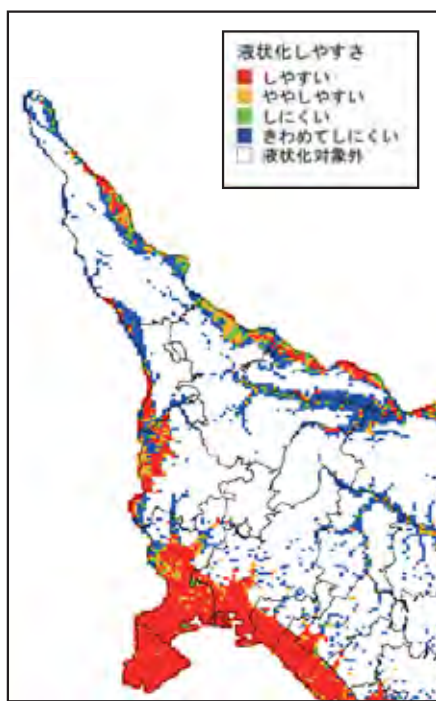
千葉県では、平成26・27年度に新たな地震被害想定調査を実施しました。ここでは、その調査結果やこれまでの県の取組みを基に、地震による地域のリスクを紹介しています。事前にリスクを知り、備えにつなげましょう。



県北西部版

【液状化しやすい?】

県北西部地域では、東京湾沿岸の埋立地や、江戸川・利根川の周辺などで液状化しやすい地域が広がっています。下の図は、震度6強の揺れがあった場合の液状化しやすさを評価したマップです（液状化対策は考慮していません）。

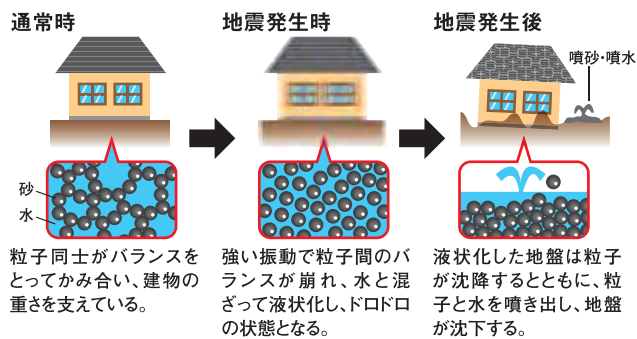


液状化しやすい地域

埋立地や河川沿いなど、砂地盤で地下水位が高い場所では、強い揺れにより液状化現象の発生が懸念されます。

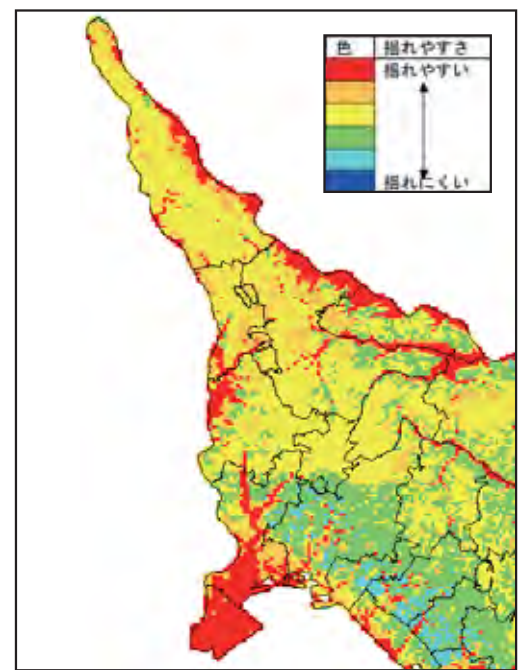
液状化により、地下の上下水道管やガスパイプ、地上の電柱・電線が被害を受け、ライフラインが途絶する恐れがあります。また、道路の隆起や陥没、マンホールの浮き上がりなどにより道路通行が困難になる恐れがあります。

●液状化のメカニズム



【揺れやすい?】

県北西部地域では、東京湾沿岸の埋立地や、江戸川・利根川の周辺などで揺れやすい地域が広がっています。下の図は、地震が起きた際の地域の揺れやすさを評価したマップです。



【帰宅が困難に】

鉄道の利用者が多い県北西部地域では、鉄道の運行停止により、多くの方が帰宅困難者となります。

駅周辺の施設や道路には人があふれ、徒歩による帰宅は集団転倒に巻き込まれるなどの危険性が伴います。

また、道路上は損壊した建物や看板などの落下物、火災などの影響により危険な状態となっている恐れがあります。



【密集市街地での火災の恐怖】

建物が密集している地域では、倒れた建物などから火災が発生した場合、延焼が止まらなくなります。

倒壊した建物や看板などの落下物、液状化現象などにより、道路が通れなくなり、消防車の到着が遅れる恐れがあります。また、道路が狭い地域では、消防車が入れない場合もあります。

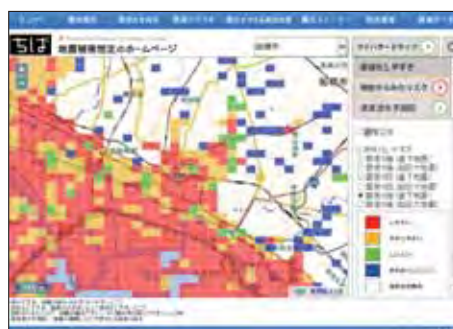


「ちば地震被害想定ホームページ」を活用して、地域の特徴を詳しく調べてみよう

「ちば地震被害想定ホームページ」では、お住まいの地域の「揺れやすさ」や「液状化しやすさ」を地図上で詳しく確認できます。また、その土地がどのような土地であるのか（台地、盛土・切土、明治期の水田など）も確認できます。その他、液状化への備えや被害想定調査の詳細な内容など、様々な情報がありますので、ぜひご活用ください。



ちば 地震被害想定 検索



「液状化しやすさ」マップ



「地形からみたリスク」マップ



〈URL〉 <http://keihatsu.bousai.pref.chiba.lg.jp/higaisoutei/index.html>